



■稲刈り体験（9月21日）

地域に根ざした特色ある取り組みの一環として、町観光協会主催の「田んぼのオーナー」に参加。米づくり体験を通して、土や作物に触れながらクラスの交流を深め、学校ではできない体験や知識を深めました。今年5月に植えた稲はスクスク育ち、稲刈りで豊かな実りを実感しました。後半は雨に見舞われましたが、貴重な経験になりました。

■13・7 kmの全校強歩大会（9月22日）

今年度から市街地へコースを変更し、個々の体力に応じて、ペース配分を考えながら13・7 kmの完走をめざしました。トップでゴールしたのは2年生の鎌田倅人くん、1時間15分18秒でした。当日は65人が全力疾走し、全員が完走しました。ゴールでは、公営塾スタッフとPTAがハスカップジュースを振る舞いました。コース変更に伴い町民の皆さんからたくさんのお協力をいただきました。ご協力



稲刈り体験

ありがとうございました。

■後期始業式・生徒会役員認証式（10月3日）

今年度の後半が始まり、始業式を行いました。伝達表彰では、新人陸上競技大会、写真部の支部大会の結果報告、数学検定準2級の表彰が行われました。佐瀬雅彦校長から「自分を大切にすること。規則正しい生活をして、勉強は諦めずに粘る」と講話がありました。また、生徒会役員認証式を行い、校長から新生徒会役員に任命書が渡されました。

■体験入学（10月5日）

中学3年生を対象にした体験入学を行いました。総勢39人が参加し、体育館で開いた全体会では、生徒会が制作した動画で学校を紹介。その後、教室7カ所に分かれて体験授業を行いました。来春の入学を心待ちにしています。

自立と感謝

9月22日に開催された厚真高校強歩大会。今年度は、地域と結びつくという目標が達成され、厚高生にとって実り多い秋になりました。

大会は、先生と相談して大きく2点変更しました。まず、コースの変更です。住宅地などを巡るコースに変えて、町民の皆さんの目に触れるコースにしました。陸上を教えているスタッフの川嶋が試走して13.7kmのコースを設定。また、前日には体育委員長が生徒が、防災行政無線でコース変更や生徒への応援を呼びかけ、町民の皆さんから厚高生に数多くの声援をいただき、給水所とトイレの貸し出しに協力していただきました。

もう一つの変更点は、完走後にあります。山口農園さんからハスカップジュースのシロップをいただき、料理が得意なスタッフの山中が朝早くから仕込んでゴール後の生徒たちに提供しました。気温が高い中、参加者65人は見事に全員完走し、達成感のなかでハスカップジュースを味わいました。

私は、自立とは感謝を感じ伝えることだと思っています。多くの方への感謝で溢れた強歩大会。応援を受けて走る生徒の笑顔と背中が、いつもより輝いて見えた1日になりました。心から「ありがとう」をいえた分だけ、生徒たちの自立は大きな一歩になっていくと確信しています。強歩大会の様子は、映像でも編集・作成し、厚高体育館で放映して互いに価値観を高め合いました。

教育魅力化支援員 加藤 千昇



強歩大会を終えて
充実した表情をみせる厚高生

よりみち通信



「よりみち学舎」は厚真高校と地域が連携しながら放課後を利用して生徒が自ら目標を発見し挑戦する公営塾です。